時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報

第三千三百四十八號
明治廿五年五月廿一日　土曜日
舊曆壬辰四月廿五日（癸丑）
日出午前四時三十三分　日入午後六時四十二分
月出午前一時二十七分　月入午後零時五十二分
滿潮午前／午後零時十二分
（西暦一千八百九十二年）

時事新報定價

時事新報は每號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜休刊

〇時事新報社より直接に遞送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢の遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付（五號活字廿四字詰）	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐるもの寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

鐵道法案

今度の議會に提出されたる鐵道案は政府の案と議員の案とを合せ都合四通り（政府案は公債法と買收法とを假りに一案として）にして何れも既に委員の調査に付せられたり其調査の結果として如何なる案が議場に出現するや知る可らずと雖も各案に就て大體の精神を窺ふに線路擴張の一點に於ては何れも必要を認めて其間に格別の相違を見ざるが如し我輩の曾て論じたるが如く目下我國鐵道の處分に就ては二個の要目あり一は豫め全國に敷設す可き線路の計畫を定めて漸次に延長を謀ることゝ一は私設鐵道目下の困難を救治して其線路の速成完全を期することにして之を略言すれば即ち線路の擴張と鐵道の整理となり此二要目は兩々離る可らざる關係を有して其一を忽にす可らず如何となれば一方に於ては線路擴張の計畫一定して次第に其實を擧げんとするも其線路の處々に介在する私設鐵道にして今日の如く不始末を極め或は汽車の速力を緩ふし或は豫定線路の工事を中止して更に進まざるが如きものあるに於ては全國の鐵道は恰も木に竹を繼ぐの姿にして實際に效用を爲さゞればなり提出の各案を見るに此二要目に關しては繁簡詳略一ならずして其中には或は整理の點に於て殊に明了を欠くの憾あるものもなきに非ずと雖も既に擴張の必要を認めたる以上は整理の之に伴はざる可らざるは自然の數にして次第に其趣旨を推し廣めて實際に適用するに至るときは各案共に大體に於て一致する所あるや必ず疑ふ可らず蓋し各案相違の點に就て云へば政府の案は整理の點に重きを置き議員の案は擴張の點に力を用ひたるの跡あるが如しと雖も畢竟立言の體を異にしたるものにして大體の精神に於ては甚しき徑庭あるに非ず既に當局者たる內務大臣の如きも議會の修正說にして弊害の少なく利益の多きものあらば政府は喜んで相談に預る可き旨を議場に公言したる程の次第なれば政府に於ても強ち自家の案を完全と認むるものに非ざる可く又議員提出の案も前後の三案ともに各その說を異にするが故に其中に就て取捨折衷を要することも勿論なる可し要するに各案共に其儘にては固より完全のものに非ざれば委員に於ても篤と調査の上、十分の意見を付し議場の熟議を經て更に政府と協議して完全の修正を施し政府案にも非ず議員案にも非ざる日本國の鐵道法案として目出たく議決せんこと我輩の祈る所なり

抑も鐵道の問題は國家百年の大計にして一時の感情を以て之を左右す可きものに非ず線路の擴張は全國民の希望する所にして世上に反對の說なきは勿論、私設鐵道の始末即ち鐵道整理の問題に至りても目下の急に迫り其方法は政府に買入るゝなり又は保護を與ふるなり何れにしても其始末は一日も等閑に付す可らず昨年の議會に於て全く鐵道の案を否決したる其影響の如何なりしやは何人も承知する所にして今年に至りては世人の望を屬すること愈々切なるものあれば苟も國民を代表する議員の人々は必ず其希望を滿足せしむるの擧動なかる可らず思ふに今度の議會に提出されたる議案の中、本案の如きは國家の利害に關すること最も切なるが故に我輩も亦議員諸氏に望むこと最も切ならざるを得ず依て聊か一言を述ぶるものなり

官報

〇大藏省告示第二十三號

東京第三十三國立銀行鎖店ヲ命シタルニ付該銀行ニ對シ債權ヲ有スル者ハ本年八月十七日限リ東京市日本橋區駿河町一番地ニ於テ該銀行跡引受人ヘ申出ツヘシ右期日迄ニ申出テサル者ハ財團ノ配當ニ加ヘサルヘシ

但配當執行ノ日限及場所ハ追テ告示ス

明治二十五年五月二十日　大藏大臣伯爵松方正義

雜報

〇伊太利の危急、歐洲の將來　伊太利に於けるルヂーニ氏の內閣は本月五日に辭表を呈し十日に聞屆けられ十五日を以てギオリチー氏の新內閣成りたれども財政困難の爲めに危急を感ぜしは遙かに其前よりの事にてルヂーニ侯の辭職も始めて辭表を呈して直ちに聞屆けられたるにあらず同國は歐洲の大國に齒して現に三國同盟の一なれども財政困難の爲めに永く其內に加ることを得るや否や甚だ疑はしき所あり巴里四月十六日發の報に曰く伊國の總理大臣ルヂーニ侯は三日前に辭表を呈出せり寔に意外の感あれども能く秘密を知れるものは敢て驚かず事態次第に困難に赴むく所より察すれば到底斯る有樣に陷るを免かれざるべしとは三箇月前に既に評論せし所なり數日前大藏大臣は大藏證券を賣出さんとして能はず一割五分の割引を爲すも羅馬、巴里、倫敦及び伯林の各所に於て應ずるもの更になく茲に至りて彌よ逼迫を極めたり但し只だ應募者なしと云ふのみなれば格別驚くには足らず一大臣辭職して他より之を襲ぐものあれば事立所に治るべけれども此公債を要するは新式砲を製造せんが爲めにして始め陸軍大臣は千五百萬フランクの費用を請求し大藏大臣は之を否み種々詮議の末遂に公債を發行して陸軍大臣の請求に應ぜんと決定したるものなれば其目的を達する能はざるに於ては內閣の政略失敗したるものなり

借伊國財政の趣を察するに最早租稅を增すこと能はず關稅法は不充分にして豫算の如く收入なく一般人民の貧究は日に益々甚しく成行けり貴族の富も今は昔日の比にあらず都會の住居さへ成り兼ねて邊鄙に引込むものあり昔時は一日に千フランクの收入ありと稱せし大富豪の家にして今餘す所の資產は一萬二千フランクに過ぎずと云ふものあり家計困難の爲めに乘馬及び馬車を賣却せしもの一昨年は六百戶、昨年は七百戶に及び從て羅馬市中の財物は總べて價格を落し地方の農家は政府の勸告にも從はずして南米アルゼンタイン共和國へ向け移住するもの多し同共和國は內政整はず外國より移住するもの抔は殊に危險なる今日なれども寧ろ其地に入りて危險を冒すも內國に居て坐死するに優ると斯る悲慘の有樣を惹起したる其原因は何所に在るか是は彼等一般の感情なり

〇國庫の剩餘と金融の緩慢　金融緩慢は最早二箇年に亘りたれども依然として變ずる所なく銀行は遊金の多きに困らして只管低利の貸附金を喜ぶが如き有樣なり是れ固より數年前に勃興せし會社熱の反動より事業振はずして資本を要すること減却したる一方には新奇の計畫を爲して巨利を博せんとせし紳商輩が信用地に墜ちて資金運轉の力なきに至りたるに起因することも多かるべしと雖も然れども又或は國會開設以來政府の支出は殆んど經常費に止まりて臨時の事業已み從來殘れる國庫の餘剩金に搗てゝ加へて議會の削減せし金額其儘堆積の姿となり既に尾濃震災の補助及び水害地土木費補助の爲めにとて支出したる金額七百萬圓に近きに尙は現在國庫に殘れるもの八百萬圓內外に達せり國庫金を取扱へる銀行が之を流用することは固く禁じたる所なりと雖も年々金庫檢查の際に銀行の狼狽するもの多く且つ金融の引締りを見るの習ひあるを以てすれば一任之を流用せざるにしても營業部預金準備の代用位に爲すもの絕へて無しとは云ひ得べからず且つ又震災地方の小部分に一時數百萬圓の金流入したる其大半は盡く商工業の中心たる東京大坂に集まりたるものなれば爲めに經濟社會は意外の通貨を增加したるなるべし尙は其震災補助費とても未だ之を費消せざる分多くして之を其地の銀行に預け置けりと云へば其地の銀行は勿論之を東京大坂の本店若くは取引先きに廻送し遣くなるべし是等の金額目下銀行社會に集まりて益々金融の緩慢を助けたるものにはあらざる歟と云へり

〇官廳の借用料　大坂米廩貸下の入札は前號の紙上に記したる如く二十四棟外附屬建物の一ケ月借用料百四十圓にて鴻池に落札したるが今此の百四十圓を總坪數二千百三十二坪に割當つれば一坪六錢餘に當るなり而して東京の並倉は一割九坪なるが故に官廳の割にすれば六十錢足らずにて借入るゝことを得べし然るに東京にて目下の相場は一割三圓五十錢大坂にても似寄の相
したる借用料は非常なる安

〇民黨十三團體の懇親會
に青年有志者の組織に係る
今回政府が議會を停止した
を要する事ありとて一昨日
錦輝館に於て懇親會を開き
名にして席定まるや關西會
述べ終りて向後運動の方法
議せり
一十三團體の連合事務所
一右事務所へは各團體よ
き連合事務を處理する
一一切の經費は各團體に
一白票議員を訪問して發
みとを申し込む事
一樞密顧問官及び貴族院
する事
一右の運動方法は各團體
なさしむる事
一院外民黨委員へ交涉し
右の議事了りて十三團體よ
せしに左の諸氏が當撰した

帝國靑年議會	山崎
關東壯年會	中島
近畿同志會	中
北信八州會	金瀬
猶興館	神代
関東正義會	三好
岳南倶樂部	井田
關東會	小久保
改進派靑年會	町田
奥羽團體	佐藤
日本鐵血義團	祖父
九州倶樂部	田尻
關西會	前川
東京自由倶樂部	後藤

〇六千萬弗の金滿家
財產は同國內第三に位し
のウイリヤム　アストル氏
りしが心臟病を患へて去る
沒したり氏は彼のアスト
暴富を致せしと云ふ初代
ル氏の弟、三代アストル
トル氏は共に慈善を旨と
種々の費用に寄附せしみ
慈善に力を盡したるみと
を大平安樂に送れり遺產
大凡七千萬弗あり始め氏が
萬弗にて殘り五百萬弗は其
の遺言によりて之を相續す
べて五人あり內三名の女子
を受け未亡人は年々五十萬
らく受續ぎ一子ジョン
續し尙は未亡人死去の折
せて相續する筈なりとぞ

〇吃の匡正法　歐米諸國に
めに市邑到る處に專門の吃
には醫學上此匡正法を研究
憾なりとて耳科專門の醫學
正法を詳述したる一書を
配布したるよし聞く所に據
原因、吃の有樣、患者の年齡
番地同氏に宛てゝ申込む
を贈與すると云ふ